



編集・発行 日蓮宗 能勢妙見山 広報部 〒563-0132 大阪府豊能郡能勢町野間中 電話 072-739-0329 FAX 072-739-2883

草堂寺参拝記

日慧

中国西安の郊外にある草堂寺という仏教寺院で、日蓮宗はじめ日蓮聖人門下連合会の各宗が一堂に会して鳩摩羅什三蔵法師報恩大要法が執り行われ、私も出仕参詣の機会を得た。この草堂寺というのは法華経がインドのサンスクリット語から漢訳された場所である。令和三年つまり再来年、宗祖日蓮大聖人御生誕800年の慶年を迎える。これに先だつて、私たちが読誦する妙法蓮華経を漢訳したその功労者である鳩摩羅什三蔵法師に報恩の誠を草堂寺で捧げたのである。法華経は西暦四〇六年に

羅什三蔵法師を慕う僧侶三千人が、この草堂寺に集まって漢訳されたという。その功績は非常に大きいもので、この漢訳妙法蓮華経がなければ、私たちは今の形で法華経お題目に出会うことがなかったかもしれないといわれている。日本から百三十名を超える僧俗が集まったので大法要が厳粛盛大に執り行われ、今もまだその時の感激は胸の内に残っている。大法要は草堂寺境内に日蓮宗鳩摩羅什三蔵法師遺跡顕彰会の協力により建てられた、蔵経楼で行われた。実は私は真如寺有縁の有志の方々と「樹輪の会」として、この蔵経楼の地鎮式が修された五ヶ月前、平成

十三年三月に総勢十八名で草堂寺に参拝している。当時はまだ草堂寺は復興の途についたばかりで、目につくお堂も他にはなく、羅什記念堂で報恩法要を修したことを記憶している。

羅什三蔵法師の当時は立派な寺院だったろうが、時の流れの中で荒れ果て、境内はトウモロコシ畑となり、仏像は一体もないという状態であったのを、日蓮

宗において遺跡復興の誓願を立てて、まず鳩摩羅什尊像を謹刻し記念堂を建立したのであった。このようなことを想起しながら境内を歩くと、妙法蓮華経を通してインドから中国、そして日本へと伝わってくる仏の慈悲の心の軌跡が目に見えるように感じられたことであつた。

法華経によって世界がひとつになるよう祈る。

《法華経に学ぶ現代》

唯願わくは

之を説き

たまえ

我等當に

佛の語を

信受

したてまつる

べし

『如来壽量品第十六』

求める気持ちがないならば  
どんな教えを聞いたとて  
右から左に抜けてゆき  
ちっとも心にや残らない  
だけど悩みがある時は  
怖い悪魔のささやきも  
救いのように思え来る  
信の心はしっかりと

【7月の主な行事】

- ☆七夕祭 6月29日(土)〜7日(日)
- ★写経会 14日(日)11時
- ★月例祈願法要 15日(祝)13時
- ★星嶺演奏会 21日(日)11時
- ★星嶺茶論 21日(日)13時
- ★鷗様月例祭 22日(月)15時
- ☆虫払祈禱祭 22日(月)〜24日(水)
- 能勢妙見山に伝わる霊刀「波切丸」を頭に頂き、煩惱の虫を妙見大菩薩に払っていただきます。

【8月の行事予定】

- ★写経会 11日(日)11時  
初心者の方もどうぞ！
- ★登山靴安全祈願&供養 11日(日)13時

「能勢妙見山 山の日フェスタ」も同時開催。

- ★月例祈願法要 15日(木)13時  
妙見さまの御縁日祈願会
  - ★星嶺演奏会 18日(日)11時  
フルート&ピアノ生演奏
  - ★星嶺茶論 18日(日)13時  
お題目の大鼓練習です。
  - ★盂蘭盆会施餓鬼法要 22日(木)13時  
お盆のご回向をいたします。
  - ★鷗様月例祭 22日(木)15時  
※火伏守札を授与
- 《交通のご案内》  
◆ケーブル&リフト毎日運行中

# 法とは何か

栗原啓文

『キングダム』という漫画がとてつもない人気を集めている。時は春秋戦国時代。下僕の少年が、若き日の秦国王と出会い、共に中華統一という果てしない夢へ突き進むという物語である。単行本は現在五十四巻まで発売され、総発行部数は四千万部を数える。更に今年四月に実写映画化され興行収入は五十億円を突破した。

このキングダムはバトル漫画なのだが、各キャラクターが自身の哲学を語る場面も数多く描かれている。中でも私の最も印象に残っている場面がある。それは法の番人とも称された季欺が法とは何かについて秦王の側近に語っている場面である。

「法とは願ひ。国家がその国民に望む人間の在り方

の理想を形にしたものだ。統一後、この全中華の人間にどうあってほしいのか、どう生きてほしいのかをしっかりと思い描け」と。

この季欺は、秦王が成人するまで、権力を欲しいままにしていた呂不韋の部下であり、秦王にとっては政敵である。呂不韋の失脚後季欺は投獄されたが、秦王の側近がこの言葉を聴いて再び季欺を登用し、世界初の法治国家である秦帝国を建国したのである。この場面での「法」とは、貴族も平民も関係なく罪を犯した者には同じ罰を与えるという、「平等思想」のことである。この絶対平等を信念とする思想家集団のことを法家と呼ぶ。季欺はこの法家の政治家である。中華を統一するということは、文化も言語も貨幣も宗教も全く異なる国を、秦国の法律の下に一つにまとめるということである。

最近、焚き火など火打ち石を使って火をつけるのがちょっとしたブームらしく、私も先日体験してきた。体験教室の講師によると、ナイティブアメリカンは火打ち石で火がつかないとき「地球に認められていない」と言うらしい。その後幸いにもうまく火がつ

## ☆☆☆☆星のたより☆☆☆☆

いたが、人智を越えた大いなるものから認められたようでなんだか誇らしく感じた。一方でお釈迦様は、私達それぞれを既に認めてくださっている。もし何かうまくいかず落ち込んだとしても、それを思いだせば必ずまた自信をもって日々歩んでいける。 U.K

思想よりも法律を重視する、これは現代では当たり前のことである。法を侵せば罰則が科されるからである。では、法律を守れば何をしてもいいのだろうか。やはり一人一人がどのような信念を持って生きるかが大切なのではないかと思う。より豊かな人生を送るためにも、一人一人を敬う心で説く法華経の世界観で生きることが必要である。

**俳壇**

（みのり）

連山の緑いや増し午の鐘  
トンネルを出づや青田の水光る  
高階の窓を訪ぬる夏燕  
バス停に忘れし日傘雨もよひ  
中庭の山梔子匂ふ厨窓

## 法華経茶話

### 衣裏繫珠喩(二)

宝とは「仏性」、親友は「お釈迦様」、貧乏人は私達「凡夫」です。このお話では、全ての人に仏性が備わっているということに「気づく」ことの大切さを教えています。

「仏性」は気づかないと輝かないのです。ほとんどの人が、自分に仏性があることなど関心がないでしょう。仏性に気づき、法華経の心をもってその宝を磨くことは、何よりの幸せにつながっていくということなのです。

ただ間違えてはいけないのは、単にお金持ちになつて楽な暮らしができるということが幸せなのではありません。心の豊かさを磨いていくことがこそが幸せに繋がるのです。

そして何よりも、苦しみを包みこむような大きな慈悲の心を感じることによって、今ある幸せの大切さに気づくことができるでしょう。